

一般社団法人地理情報システム学会第 104 回理事会 議事録

開催日時： 令和 7 年 11 月 2 日(日) 14 時 00 分～15 時 15 分

開催場所： 富山大学五福キャンパス 共通教育棟 3 階 A31 教室

出席者： 理事：相、井上、大場、河端、熊谷、佐藤、塚本、中谷、山田、山本
監事：大佛、巖

配付資料： 2025 年 11 月 2 日 第 104 回理事会資料

議事

・開会

定刻 14 時 00 分に、山本会長が議長を務め開会を宣言した。理事の出席数を確認し、本理事会が適法に成立している旨を告げた。

総理事 10 名

出席理事数 10 名

議事概要：

【報告事項】

1. 大会参加者数の報告

井上理事より今年度大会の有料参加者数が 350 名であったことが報告された。

2. 職務執行状況について

中谷理事より、企画委員会の活動として、マッチングイベントの開催、機関誌特集号の進捗状況について、報告された。

河端理事より、財務担当理事として、月次会計検査の実施、「委員会・支部・SIG 経理規定」改訂の進捗状況について報告された。支部・分科会担当理事として、本理事会前に支部・分科会ミーティングが開催された旨、報告があった。

塚本理事より、教育委員会の活動として、GIS 教育実践アワードの審査および授与について報告された。また、他学会等での受賞との重複等に関する応募規定（受賞資格）の見直しや賞の新設の可能性、広報の方法などについて、検討状況の報告があった。また、GISA 富山大会におけるシンポジウム開催も報告された。

相理事より、広報委員会の活動として、ニューズレターの発行、大会前号の発行時期が変更になったことに伴う来年度に向けての検討事項、大会風景の写真撮影、学会 HP へのバナー広告導入に向けた検討の状況について、報告された。

熊谷理事より、編集委員会の活動として、学会機関誌の投稿件数・査読・採択等の状況、大会特集号の受入準備について報告された。

佐藤理事より、GIS 技術資格認定協会の活動として、GIS 資格認定件数、10 月のメールマガジンの発行、GISCA 名誉上級技術者受賞者の表彰について報告があった。資格者数は横ばいであり、過去の有資格者の再申請推進等の検討が行われている旨、報告された。

山本会長より、昨今の物価上昇などに鑑み、学生会員の負担等には配慮した上で、来年度に向けて大会参加費の見直し等を検討することが提案された。関連して、大会（懇親会含む）における企業展示等の充実による収益の確保、将来に向けた学会資産の活用等について議論された。

3. 入退会会員リストについて

山本会長より、入退会の現状報告がなされた。

【審議事項】

1. 来年度大会の開催日程の決定

井上理事より、来年度大会の開催日程を 2026 年 10 月 31 日、11 月 1 日とすることが提案され、承認された。

2. 大会優秀発表賞・ポスターセッション賞の決定

井上理事より優秀発表賞 10 名（審査対象者 45 名）、ポスターセッション賞 10 件（審査対象 97 件）の候補がそれぞれ提示され、理事会でこれを承認した。

【大会優秀発表賞】受賞候補者 10 名 / 審査対象者 45 名（敬称略）

白石 彩乃（摂南大学）[C2-03] 土地利用の変遷に着目した局所人口分布の空間変動の分析

式見 悠一郎（東北大学）[C4-02] 外邦図の画像識別による朝鮮半島の環境変遷の分析

橋本 蒼真（東京科学大学）[C5-02] ビーコンデータを用いた大学病院勤務医の滞留・移動分析

齋藤 開（東京都市大学）[C6-03] オープンデータを用いた戸建て住宅の分布推定手法の開発

竹内 真雄（筑波大学）[D1-02] 多世代の位置情報に基づく滞在集積の時空間分布と年代間相関

青木 日花（筑波大学）[D1-04] 立地アメニティとオフィス賃料－オフィスビルにおける交通利便性の再考－

小松 ののか（東京科学大学）[D3-04] 密集市街地で撮影した街路全方位画像の位置情報補正手法－建物外観画像の効率的収集に向けた検討－

釜谷 紘生（筑波大学）[D4-04] マニラ首都圏における洪水リスクが不動産賃料に与える影響の分析－賃料帯の異質性に着目して－

原田 慶紀（東京科学大学）[E1-01] 街路印象評価に対する空間構成要素の質的影響

大村 碧（東京科学大学）[E3-01] 携帯電話位置情報データを用いた滞留施設・滞留目的の推定手法

【ポスターセッション賞】受賞候補 10 件 / 発表申込数 97 件（敬称略）

寺田 遣都、清水 貴仁、秋山 祐樹（東京都市大学）[P1-18] 街路景観画像と深層学習を用いた不動産価格の自動評価手法の開発

山田 拓弥、沖 拓弥（東京科学大学）[P1-19] 連続的な空間体験を考慮した建物内部空間の印象評価予測モデル

金 炫禎（株式会社地域環境計画）[P1-23] 都市近郊森林の環境評価：豊田市自然観察の森を対象とした多面的機能の定量分析

松本 直樹 1、河端 瑞貴 1、直井 道生 1、森岡 渉 2、今中 雄一 3（1. 慶應義塾大学、2. ソールズベリー大学、3. 京都大学）[P1-28] 平均寿命と健康寿命の地域的・社会的要因分析

佐藤 将 1、深見 奈緒子 2、熊倉 和歌子 2（1. 金沢星稜大学、2. 慶應義塾大学）[P1-46] 歴史都市カイロの地図データベースの整備と都市空間の特徴

岸本 慧大（兵庫県立大学）[P2-04] 人流データを用いた孤立・孤独状況に伴う外出行動の解明

吉田 崇紘、山田 育穂（東京大学）[P2-16] 組成データのための空間統計量の提案

早坂 遼、堤 盛人（筑波大学）[P2-30] 東京国際空港新飛行経路による不動産価値への影響分析のための広域騒音推計

沖 拓弥（東京科学大学）[P2-31] 実人流データに基づく商店街のにぎわいの特徴分析：東京都大田区を対象としたケーススタディ

秋山 祐樹 1、秋山 千亜紀 2、水谷 昂太郎 1、清水 貴仁 1（1. 東京都市大学、2. 麗澤大学）[P2-35] 都市多様性指標（UDI）による世界 280 都市の多様性評価と日本の主要都市圏への適用

3. 学会誌「GIS-理論と応用」の発行費用について

熊谷理事より資料に基づく説明があり、提案通り承認された。

【その他】

1. 次回理事会は来年 1 月を目処に開催することとし、事務局を通じて日程調整を行うこととなった。

・ 閉会

予定されていた議事をすべて終了し、議長が 15 時 15 分に本理事会の閉会を宣言した。

出席理事および監事

理事	相 尚寿
理事	井上 亮
理事	大場 亨
理事	河端 瑞貴
理事	熊谷 樹一郎
理事	佐藤 俊明
理事	塚本 章宏
理事	中谷 友樹
理事	山田 育穂
理事	山本 佳世子
監事	大佛 俊泰
監事	巖 網林

以上の決議を明確にするため、山田理事が本議事録を作成し、議長及び出席理事・監事全員が記名押印する。

2025 年 11 月 2 日

一般社団法人地理情報システム学会

理事	相 尚寿
理事	井上 亮
理事	大場 亨

理事	河端 瑞貴
理事	熊谷 樹一郎
理事	佐藤 俊明
理事	塚本 章宏
理事	中谷 友樹
理事	山田 育穂
理事	山本 佳世子
監事	大佛 俊泰
監事	巖 網林